

第5期横浜市港南区地区センター 第2回指定管理者選定委員会 議事録

開催日時	令和8年8月6日（木） 午前9時00分～午前10時20分
開催場所	港南区役所5階 特別会議室
出席者	小室委員、長沼委員、藤崎委員、宮島委員、宮田委員（計5名）
欠席者	無し
開催形態	公開（傍聴人なし）、議題2（審議）から非公開
議題	はじめに（横浜市港南地区センターの指定管理者の選定について） 1 面接審査 2 審議
面接審査 ・ 審議	1 港南地区センター面接審査について 1 団体あたり、10分間のプレゼンテーション及び15分程度の質疑応答を行った。団体のプレゼンテーションの概要は次のとおり。 【プレゼンテーション概要】＜応募団体 一般社団法人こうなん区民利用施設協会＞ ・当団体が管理運営する10施設で蓄積された業務スキルやノウハウ、指定事業の企画等を情報共有し、業務改善に取り組んでいく。また、港南区民活動支援センターとも連携を図る。 ・これまで、Wi-Fi設置の拡充やWEB予約システムの導入等、利用者の利便性向上に取り組んできた。 ・コンプライアンス向上及び個人情報保護については、当団体全体で検討・点検する体制を構築している。職員行動基準を定め、施設職員が常に自身の行動を振り返ることで、利用者から信頼を得られる施設づくりを目指す。また、施設での緊急時に備えて、セキュリティ対策やAEDの設置・取り扱い訓練を実施し、適切な対応ができるようにする。 ・港南地区センターの地域特性、地域ニーズとして、公共施設が集まり地域活動が活発な一方で、高齢化と子育て世帯の流入が進む地域と認識している。当施設が多様な世代や地域団体をつなぐ「地域の交流拠点」として誰もが学び、交流し、安心して利用できる施設運営を推進する。 ・具体的な提案として、料理室の目的外利用や当日予約の割引を設け、利用機会の拡大と利用者数の増加を目指す。また、自治会町内会や学校へ施設の利用方法や活動内容をPRしていく。 ・指定事業では利用者が内容面・費用面で参加しやすいと思える事業、地域で活躍中の人材を活かした事業に取り組み、参加者同士の交流やサークル化・地域活動への発展を支援する。また、新規利用者の増に繋げる。 ・施設及び設備の維持管理計画では、予防保全の考え方を基本とし点検結果の記録を年間保守計画や長期修繕計画に反映することで、安全・快適な環境を保っていく。 【主な質疑内容】 ＜委員＞ 提案書類において、増収策として空き室利用の促進が挙げているが進んでいるのか。 ＜回答＞ 地区センターは利用料金収入が大きな収入の柱となる。なるべく多くの方にご利用いただくことが1つの目標になるので、料理室の多目的利用を認めるなど取り組んでいる。

<委員>

提案書類において、豆抽出式コーヒー等の自動販売機の設置を挙げているが、ニーズはあるか。

<回答>

当施設には1階と2階に自動販売機が設置されており、通常は季節によって需要が高い商品に入れ替わる。一方で、季節を問わず温かい（あるいは冷たい）飲み物を求めている方もおり、より良いサービス向上のために設置したいと考えている。

<委員>

学校や団体での活動が少なくなっている一方で、地区センターの役割は今後さらに増すのではないかと考えている。複数ある施設のネットワークを活かした運営をしていただきたい。学校や団体との繋がりが薄くなっているが、何か考えている政策はあるか。

<回答>

例えば、楽器を練習できる場所として地区センターをご活用いただきたい。小学校でのマーチングバンドや中学校の部活動はあるが、そのような利用ができることはあまり知られていないので、周知していきたい。また、施設の利便性が良いため、当施設で出来ることをアピールし利用できるきっかけをつくっていききたい。

<委員>

WEB予約システムの充実・強化とあるが、高齢者の利用も多いと思う。利用率はいかがか。

<回答>

WEB予約システムを導入した当初は、いわゆるガラケーと呼ばれる携帯電話の利用者が多く従来の予約方法も併用していた。最近はスマートフォンの利用者がほとんどで、窓口での予約は全体で1割程度に減ってきた。窓口で予約や利用キャンセルの操作をサポートしながらご案内しており、その結果「利用しやすい」という声もいただいているので継続していきたい。

<委員>

指定事業について、「その他の支出」が漠然としており分からない。また、講師謝金について、例えば「子どもヒップホップダンス教室」では8万円を計上しており高額だが、基準はあるのか。

<回答>

その他の支出には、保険料や材料費、消耗品が含まれている。また、講師謝金の支払い基準を当団体内で定めている。子どもヒップホップダンス教室は複数回で実施しており、助手の方がいるためにやや高額になっている。以前から、当団体では講師謝金は5千円を目安としてきたが、現在は6千円を目安とし、交通費は1千円、助手3千円としている。

<委員>

新規利用者の取り込みと従前からの利用者による利用を具体的にどのように両立していこうと考えているか。

<回答>

5年間で1万人を目指しており、1日あたり6人程度にあたる。そのため毎日来ていただける方を増やしていきたい。例えば、最近ではゲーム機をもって地区センターにくる子どもが多く、Wi-Fiを求めて施設を利用している。また、プレイルームがあるため、親子向けにアピールしていきたい。

<委員>

自主事業等を通じて、利用団体を増やす具体策はあるか。

<回答>

稼働率が低い部屋として、料理室は利用率10%をきっている。料理以外での利用では減免措置

	を行う。また、和室（14畳）の利用が少ない。和室の利用イメージを変えるために、絨毯を引いて多目的に使えるようにしたり、利用者が多い健康マージャンでの利用をできるようにしたりする。 2 審議 【委員意見】 ・来館者が安全に利用できる施設づくりと安定した運営が期待できる。 ・行政が求めていることに対して提案されていた。 ・利用者のニーズを把握し運営していることが理解できた。利便性も良く、自治会町内会や他の施設と連携しながら運営されている。今後も横のつながりを密にして運営してもらいたい。 ・利用者数の増加を目標設定に掲げているのは評価できるが、具体的にどのような取り組みをするかが不十分だった。地域にどのように情報発信して実現していくかという点を期待したい。 ・利用率の向上策として、料理室や和室の目的外利用を提案していたが、そもそも目的の利用が少ない要因とその分析が必要である。 ・指定事業について、利用者の45%が事業を「知らない」と回答しているようである。 ・建物の老朽化が進んでいる施設で、先を見据えた対策や修繕計画を検討いただきたい。 ・新しいアイデア、提案が弱い。予算の中でどのように優先順位をつけて取り組むのか、説明があればなお良い。利便性が良い施設だからこそ、施設の価値を上げていく提案があるとなお良い。 ・財務状況については、収入・利益ともに増加し、経営は安定していることが伺える。今後の方針としては、利用率の向上を図るとともに、指定事業・自主事業では利用者ニーズに合った企画を増やし、事業収入の強化を進めること、そして健全な支出管理を徹底することが重要だと考えられる。
審議結果	・一般社団法人こうなん区民利用施設協会を横浜市港南地区センター指定管理者の指定候補者とする（777点/925点）。
特記事項	特になし